



# 総合型選抜・学校推薦型選抜

令和4年度入学者選抜要項



大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY



(目次)

- 大阪大学の教育理念
- 総合型選抜・学校推薦型選抜の基本方針
- 総合型選抜・学校推薦型選抜が期待する学生像
- 総合型選抜・学校推薦型選抜の注意事項
- 総合型選抜・学校推薦型選抜の主なスケジュール
- 募集人員 ..... 1
- 総合型選抜・学校推薦型選抜
  - 【文学部】総合型選抜 ..... 3
  - 【人間科学部】総合型選抜 ..... 5
  - 【外国語学部】総合型選抜 ..... 7
  - 【法学部】総合型選抜 ..... 9
  - 【経済学部】総合型選抜 ..... 11
  - 【理学部】総合型選抜（研究奨励型） ..... 13
  - 【理学部】総合型選抜（挑戦型） ..... 15
  - 【医学部医学科】学校推薦型選抜 ..... 17
  - 【医学部保健学科】学校推薦型選抜 ..... 19
  - 【歯学部】学校推薦型選抜 ..... 21
  - 【薬学部】学校推薦型選抜 ..... 23
  - 【工学部】学校推薦型選抜 ..... 25
  - 【基礎工学部】学校推薦型選抜 ..... 27

(付)

- 学部等所在地・配置図 ..... 30
- 学部等配置図 ..... 31

# 大阪大学の教育理念

大阪の市民社会の強い期待のもとに1931年に誕生した大阪大学は、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、次代の社会を支え、人類の理想の実現を図る有能な人材を生み出すことを使命と考えています。そのためには、学問の追求においては世界水準を目指すとともに、人類社会が抱える課題に絶えずまなごしを向け、その解決に取り組むという知的責任感を涵養することが大事だと考えています。

こういう観点から、大阪大学の教育は世界水準の深い専門性を極めるとともに、自由で闊達な市民的性格と批判精神を備え、社会から信頼される専門家の育成を目指しています。カリキュラムは、学部から大学院まで一貫して、深い教養と国際性が身につくように配慮されています。また、総合大学ならではの特性を生かし、多様な専門分野の相互交流を盛んにすることにより、地球環境問題に典型的にみられるような正解のない複雑な社会的課題の解決を目指し、専門知の協働をデザインする能力も身につけてもらいたいと考えています。

## 総合型選抜・学校推薦型選抜の基本方針

大阪大学は、21世紀のグローバル社会において活躍する人材を輩出するためには、従来の価値観や能力にとらわれない多様な資質を有する学生を受け入れることが重要であると考え、一般選抜とは異なる観点で「総合型選抜」又は「学校推薦型選抜」を全学部で実施します。

本選抜では、高等学校等で主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた将来のグローバルリーダーの卵である意欲的な人や、グローバル社会の下で活躍できる優秀な人材を、より多様に集積させることを目指します。具体的には、高等学校等の成績、大学入学共通テストの結果、国際バカロレア資格、TOEFL、口頭試問（面接）等を各学部のアドミッション・ポリシーに基づき組み合わせる他、必要に応じ、高等学校等での自由研究の活動、海外留学等の実績等を活用したり、志望理由書や志願者が所属する高等学校等の長が作成する志願者評価書を参考にしたりするなどして、多面的、総合的に合格者を判定します。

## 総合型選抜・学校推薦型選抜が期待する学生像

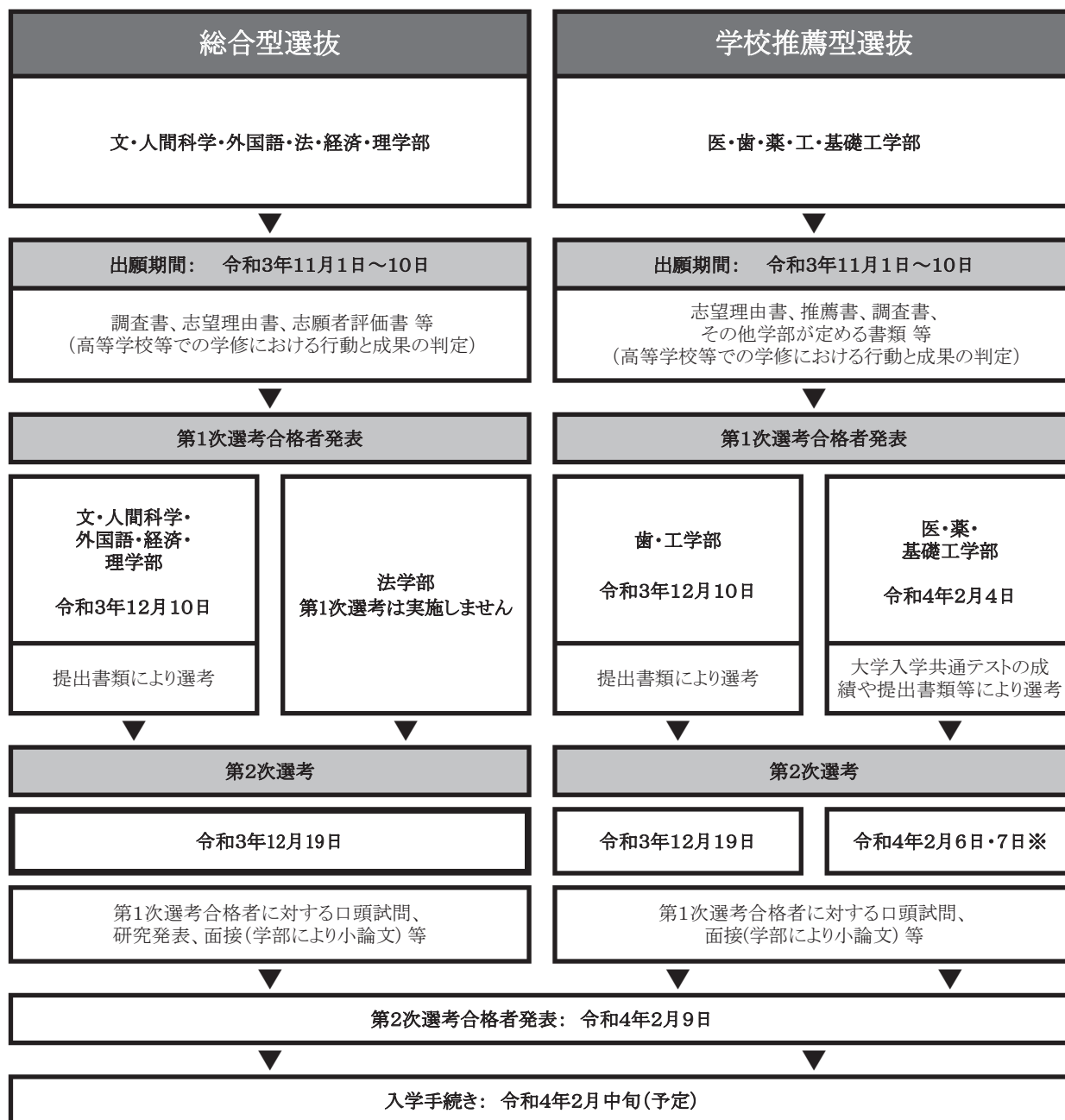
総合型選抜・学校推薦型選抜では、ここに述べた大阪大学の教育理念に共感し、単なる自己実現にとどまることなく、何のために学ぶのかを真剣に考え、それを実行できる学生の入学を期待しています。最先端の知を学び、自らも新たな知を生み出すとともに、それをどのように社会に活かすかという志と、その実現のためのスキルや知識も備えた人間、大阪大学が育成したいリーダー人材はこういう人なのです。

選抜においては、このような考え方を踏まえ、基礎的な学力については大学入学共通テストを利用して評価しますが、同時に高等学校での学びの質や経験をきちんと把握し、総合的に評価することにしていきます。何よりも重視したいのが、「自分の頭で考える習慣」を持っているかどうかです。正解に素早くたどり着く能力よりも、一生を通じて出会うさまざまな問題に向き合い、考え抜く力が大事だと考えています。正解のない複雑な社会的課題に対して果敢に挑戦する志を持った学生の入学を期待しています。

## 総合型選抜・学校推薦型選抜の注意事項

- (1) 学部ごとに、総合型選抜、学校推薦型選抜のどちらかを実施します。
- (2) 本学で教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、大学入学共通テストの受験を必須とします。また、志願者の能力、意欲、適性を多面的・総合的に評価します。
- (3) 志願者の基礎学力、能力、意欲、適性によっては、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (4) 志願者1人につき、総合型選抜、学校推薦型選抜のいずれか1つ及び1つの学部・学科・専攻・コースのみ出願することができます。総合型選抜・学校推薦型選抜の複数の選抜及び複数の学部・学科・専攻・コースに出願した場合は、全ての出願を無効とし受験を認めません。
- (5) 学校推薦型選抜において、推薦人員枠を超えて推薦があった場合は、当該校より推薦のあった志願者全てを無効とし受験を認めません。
- (6) 各学部が定める第2次選考を1つでも受験しなかった場合や、各学部が指定する令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を1つでも受験しなかった場合は、合格者判定の対象となりません。
- (7) 「総合型選抜・学校推薦型選抜」に合格し入学を予定する者に対して、必要に応じ、本学教員が入学までに取り組むべき課題等について指導します。

## 総合型選抜・学校推薦型選抜の主なスケジュール



※2月7日は医学部医学科のみ選考あり

# 募集人員

学 部	学 科 等		総合型選抜		学校推薦型選抜	(参考) 一般選抜 前期日程
			令和4年度		令和4年度	令和4年度
文 学 部	人文学科		30			135
人間科学部	人間科学科		15			115
外国語学部	外国語学科	中国語専攻	4			36
		朝鮮語専攻	2			16
		モンゴル語専攻	2			16
		インドネシア語専攻	2			10
		フィリピン語専攻	2			10
		タイ語専攻	2			13
		ベトナム語専攻	2			13
		ビルマ語専攻	2			16
		ヒンディー語専攻	2			16
		ウルドゥー語専攻	2			16
		アラビア語専攻	3			22
		ベルシア語専攻	2			16
		トルコ語専攻	2			16
		スワヒリ語専攻	2			16
		ロシア語専攻	3			22
		ハンガリー語専攻	2			13
		デンマーク語専攻	2			16
		スウェーデン語専攻	2			16
		ドイツ語専攻	4			30
		英語専攻	6			54
		フランス語専攻	3			22
イタリア語専攻	2			16		
スペイン語専攻	4			31		
ポルトガル語専攻	3			26		
日本語専攻	3			27		
法 学 部	法 学 科		17			153
	国際公共政策学科		8			72
経 済 学 部	経済・経営学科		22			198
理 学 部			研究奨励	挑戦		
	数 学 科			5		42
	物 理 学 科			10		66
	化 学 科		8			69
	生 物 科学科	生物科学コース	5			25
生命理学コース		5			20	
医 学 部	医 学 科				5名程度	95
	保健学科	看護学専攻			8	72
		放射線技術科学専攻			4	36
		検査技術科学専攻			4	36
歯 学 部	歯 学 科				5	48
薬 学 部	薬 学 科				15	65

学 部	学 科 等	総合型選抜	学校推薦型選抜	(参考) 一般選抜 前期日程
		令和4年度	令和4年度	令和4年度
工 学 部	応用自然科学科		22	195
	応用理工学科		25	223
	電子情報工学科		17	145
	環境・エネルギー工学科		8	67
	地球総合工学科		12	106
基礎工学部	電子物理科学科		9	90
	化学応用科学科		9	75
	システム科学科		18	151
	情報科学科		9	74
合 計		190	170	2,878

※総合型選抜・学校推薦型選抜では、志願者の基礎学力、能力、意欲、適性によっては、学部・学科・専攻・コース（以下「学部等」と言う）の合格者又は入学手続き者が、学部等の募集人員に満たない場合があります。その場合、その欠員は学部等の一般選抜前期日程の募集人員に加えます。

※一般選抜前期日程募集人員の詳細は、令和3年7月発行予定の「令和4年度大阪大学入学者選抜要項」を参照してください。

## 【文学部】 総合型選抜

### 《求める学生》

文学部では、哲学・歴史学・地理学・文学・芸術学・日本学など多岐にわたる教育・研究が行われています。文学部の総合型選抜では、高等学校等でそのような文学部の学問に関連する学習・調査等の諸活動に主体的に取り組んだり、高い外国語能力を身につけたりした人で、学術研究への強い意欲と見通しを持ち、学問的知見をもってグローバル社会に貢献しようとする志の高い方々を求めます。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和2年度中に取得した者及び令和3年度中に取得した者又は取得見込みの者

### 2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「3. 主な提出書類」の(3)に該当する書類）を提出できる者
- (2) 文学部が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

なお、(3)及び(4)の書類については、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に該当するものに限り、

- (1) 次の①～③の書類は全員提出してください。

- ① 調査書（1. 出願資格(3)に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
- ② 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- ③ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

- (2) 出願資格の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及びPredicted Gradesを仮に提出してもらいますが、令和4年1月19日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

- (3) 次の①～⑩から1つ又は複数の項目に該当する書類を全員提出してください。

また、「活動実績報告書」（Web出願システムへ入力）を併せて提出してください。

- ① 文学部での学びに資する卓越した活動、例えば哲学・地理歴史・文学・語学・美術・音楽・演劇等に関する活動についてA4用紙1枚にまとめた書類、及びそれを裏付ける書類等があればそのコピー
- ② 外国語に関する高い語学力を証明する書類（TOEFL、IELTS、英検、TestDaF、Goethe-Zertifikat、独検、DELTA、DALF、仏検、HSK（漢語水平考試）、中検等）のコピー（但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要）
- ③ 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が15日以上）の事実を証明する書類（大阪大学所定様式）
- ④ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類（大阪大学所定様式）
- ⑤ 日本の大学入学共通テストに相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書
- ⑥ スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校においてSGHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（アソシエイト校は対象とならない）（大阪大学所定様式）
- ⑦ WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校、共同実施校および連携校に指定されている高等学校等で行ったWWLに関連する課題研究において得たことを、志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）
- ⑧ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校においてSSHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）



- ⑨ 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類（大阪大学所定様式）
- ⑩ 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（大阪大学所定様式）
- (4) 次の①～②に該当するものがあれば証明する書類を提出してください。（任意）
  - ① 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類（大阪大学所定様式）とインターンシップの経験で得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）
  - ② 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が15日未満）の経験があればその事実を証明する書類（大阪大学所定様式）
- (5) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	
地理歴史	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	} から2
公民		
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2	
数学	(数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B) の2	
外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	

##### 【注意事項】

- \* 1：「基礎を付した科目」から2科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。
  - ① 「基礎を付した科目」から2科目と、「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合……選択した基礎を付した2科目の成績を利用
  - ② 「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合……基礎を付していない2科目を、基礎を付した2科目と見なし、2科目の成績を利用。この場合、基礎を付していない科目は1科目ごとに50点満点に換算します。
  - ③ 「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合……合格者判定の対象とはなりません。（「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。）
- \* 2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。
  - ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

- (1) 第1次選考  
提出書類を50点満点で採点し、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。
- (2) 第2次選考  
第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。  
第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文、面接の結果を総合して行います。  
第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト						提出書類	小論文	面接	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語				
(200)	(200)	(100)	(200)	(200)	200	50	100	50	400

- ※大学入学共通テストの配点合計900点満点を200点満点に換算します。
- ※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね75%以上であることを目安とします。

#### 6. 第2次選考

実施日：令和3年12月19日（日）

試験内容	小論文
	面接

## 【人間科学部】 総合型選抜

### 《求める学生》

人間科学部は、文系の学問と理系の学問の垣根をとりはらう「文理融合」という理念を掲げ、それぞれの学生が自分の関心にしたがって多様な力を身につけることができる教育プログラムを充実させています。よって、人間科学部の総合型選抜では、高等学校等において、特定の教科の枠にとられない好奇心旺盛な態度（学際性）、さまざまなフィールドで実践的活動に参加する行動力（実践性）、グローバルな諸課題に積極的に関与しようとする意欲や能力（国際性）などを示す活動を行った、あるいはそうした可能性をもった学生を求めています。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和2年度中に取得した者及び令和3年度中に取得した者又は取得見込みの者

### 2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「3. 主な提出書類」の(3)に該当する書類）を提出できる者
- (2) 人間科学部が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

なお、(3)の書類(①を除く)については、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に該当するものに限りです。

- (1) 次の①～③の書類は全員提出してください。

- ① 調査書（1. 出願資格(3)に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
- ② 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- ③ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

- (2) 出願資格の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及びPredicted Gradesを仮に提出してもらいますが、令和4年1月19日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

- (3) 人間科学部があげるアドミッション・ポリシー及び総合型選抜で求める学生に合致する活動で、次の①～⑩のうち、異なる番号で3点以内を選択し、該当する書類を全員提出してください。ただし3点の中で活動内容の重複は認めません。

また、「活動実績報告書」（Web出願システムへ入力）を併せて提出してください。

- ① 次に指定する外国語に関する高い語学力を証明する書類のコピー（但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要）（出願期間の初日から遡り2年以内に取得したものに限り）
  - ・英検（方式は問わない）…………… CSEスコア証明書（合格証明書は受け付けません）
  - ・TOEFL-iBT …………… スコア証明書（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
  - ・IELTS Academic Module …………… スコア証明書
  - ・ケンブリッジ英語検定…………… 合格証明書
  - ・GTEC（CBTに限る）…………… スコア証明書
  - ・TEAP…………… スコア証明書
  - ・TEAP CBT …………… スコア証明書
  - ・TOEIC L&R/TOEIC S&W（注1）… スコア証明書（注1）TOEICは、L&RとS&Wの2つのスコア証明書が必要です。  
（注2）証明書が無いスコアは評価対象外です。
- ② 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が連続した15日以上）の事実を証明する書類（大阪大学所定様式）ただし、複数回の研修の合算は認めません。移動日や研修以外の滞在は日数から除外すること。
- ③ 日本学生科学賞（読売新聞社等主催）、ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生・高専生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、入選した者及び最終審査会出場者（予定の

- 者を含む)となったことを証明する書類(大阪大学所定様式)
- ④ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者(予定の者を含む)となったことを証明する書類(大阪大学所定様式)
  - ⑤ 日本の大学入学共通テストに相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書
  - ⑥ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されている学校においてSSHに関連するコースや科目を履修し、得たこと(SSH生徒研究発表会(文部科学省等主催)への出場含む)を志願者がA4用紙1枚にまとめた書類(活動日と活動内容を明確に記載すること)(大阪大学所定様式)
  - ⑦ スーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されている学校においてSGHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類(活動日と活動内容を明確に記載すること)(アソシエイト校は対象とならない)(大阪大学所定様式)
  - ⑧ WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業の拠点校、共同実施校および連携校に指定されている高等学校等で行ったWWLに関連する課題研究において得たことを、志願者がA4用紙1枚にまとめた書類(大阪大学所定様式)
  - ⑨ 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類(大阪大学所定様式)
  - ⑩ 高度なリーダーシップに基づいて得られた卓越した成果を客観的に証明する書類(大阪大学所定様式)
  - ⑪ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類(大阪大学所定様式)
- (4) 大学入学共通テスト成績請求票(出願期間終了後(12月下旬予定)に提出)

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		
国語	国語	} から1	* 1
地理歴史	世界史B、日本史B、地理B		
公民	「倫理、政治・経済」	} から2	* 2
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎		
	又は		
	物理、化学、生物、地学		
数学	(数学I・数学A)と(数学II・数学B)の2		
外国語	英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1		* 3

#### 【注意事項】

- \* 1 : 第1解答科目の成績を利用します。
- \* 2 : 「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付さない科目」から1科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。
  - ① 「基礎を付した科目」から2科目と、「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合……いずれか得点が高い方の成績を利用します。
  - ② 「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合……第1解答科目の成績を利用します。(「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。)
- \* 3 : 英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。  
 ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

- (1) 第1次選考  
提出書類により選考を行い、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。
- (2) 第2次選考  
第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。  
第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文の成績、面接の結果により行います。  
第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							提出書類	小論文	面接	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計				
20	20	20	20	20	20	100	40	40	20	200

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね75%以上であることが必要です。

#### 6. 第2次選考

実施日：令和3年12月19日(日)

試験内容	小論文
	面接

## 【外国語学部】 総合型選抜

### 《求める学生》

- (1) 高等学校等で主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた人
- (2) 世界的規模の諸問題を解決するために、グローバル社会で活躍することを目指す人
- (3) 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋となり、人類と世界に貢献する意欲をもつ人

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和3年度中に取得した者又は取得見込みの者

### 2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者。
  - ・英検（方式は問わない）（注1）…………… 合格証明書（又はCSEスコア証明書）
  - ・TOEFL-iBT（注2）…………… スコア証明書（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
  - ・IELTS Academic Module（注2）…………… スコア証明書  
（注1）高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に取得したもの。  
（注2）出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの。
- (2) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「3. 主な提出書類」の(3)に該当する書類）を提出できる者
- (3) 外国語学部が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

なお、(3)及び(4)の書類については、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に該当するものに限り、

- (1) 次の①～④の書類は全員提出してください。
  - ① 調査書（1. 出願資格(3)に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
  - ② 「2. 出願要件」の(1)に該当するスコア証明書のコピー又は合格証明書のコピー  
但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。（TOEFL-ITP 及びIELTSのGeneral Training Moduleの成績は利用できません。）
  - ③ 志望理由書（Web出願システムへ入力）
  - ④ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）
- (2) 出願資格の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及びPredicted Gradesを仮に提出してもらいますが、令和4年1月19日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。
- (3) 次の①～⑩のいずれかの項目に該当する書類を1つ以上全員提出してください。

また、「活動実績報告書」（Web出願システムへ入力）を併せて提出してください。

  - ① 外国語に関する高い語学力を証明する書類（英語の資格・検定試験のスコア証明書や合格証明書）のコピー（但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要）
  - ② 国際的又は全国的規模の外国語によるスピーチコンテスト等に出場し、入賞したことを証明する書類（大阪大学所定様式）
  - ③ 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が3か月以上）の事実を証明する書類（大阪大学所定様式）
  - ④ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類（大阪大学所定様式）
  - ⑤ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている学校においてSSHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）
  - ⑥ スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校においてSGHに関連するコースや科目

を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（アソシエイト校は対象とならない）（大阪大学所定様式）

- ⑦ WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校、共同実施校および連携校に指定されている高等学校等で行ったWWLに関連する課題研究において得たことを、志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）
  - ⑧ 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類（大阪大学所定様式）
  - ⑨ 高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（大阪大学所定様式）
  - ⑩ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類（大阪大学所定様式）
- (4) 次の①～②に該当するものがあれば証明する書類を提出してください。（任意）
- ① 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類（大阪大学所定様式）とインターンシップの経験で得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）
  - ② 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が3か月未満）の経験があればその事実を証明する書類（大阪大学所定様式）
- (5) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		
国語	国語		
地理歴史 公民	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	から1	*1
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2		*2
数学	(数学I・数学A)と(数学II・数学B)の2		
外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1		*3

#### 【注意事項】

- \*1：第1解答科目の成績を利用します。
- \*2：「基礎を付した科目」から2科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。
  - ①「基礎を付した科目」から2科目と、「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合……選択した基礎を付した2科目の成績を利用
  - ②「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合……基礎を付していない2科目を、基礎を付した2科目と見なし、2科目の成績を利用。この場合、基礎を付していない科目は1科目ごとに50点満点に換算します。
  - ③「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合……合格者判定の対象とはなりません。（「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。）
- \*3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。
  - ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

- (1) 第1次選考  
提出書類により選考を行います。専攻毎に募集人員の約2倍までの者を第1次選考合格者とします。
- (2) 第2次選考  
第1次選考合格者に対し小論文及び口頭試問を実施します。なお、小論文（120分）は、文章読解論述型のほか、必要に応じてテーマ型など他の形式でも出題します。口頭試問は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。  
第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文の成績、口頭試問の結果により行います。  
第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							提出書類	小論文	口頭試問	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計				
200	100		100	200	200	800	300	400	300	1,800

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中80%以上、かつ外国語の得点が85%以上必要です。併せて、提出書類、小論文、口頭試問の得点の合計が満点中60%以上必要です。

#### 6. 第2次選考

実施日：令和3年12月19日（日）

試験内容	小論文
	口頭試問

## 【法学部】 総合型選抜

### 《求める学生》

法学部で学ぶ専門力を基礎に、高校までに得た特別な経験や能力を活かしたい人や、グローバルなコミュニケーション力を伸ばしたい人を歓迎します。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和3年度中に取得した者又は取得見込みの者

### 2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 国際公共政策学科の志願者のみ、次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者。
  - ・英検（方式は問わない）（注1）…………… 合格証明書（又はCSEスコア証明書）
  - ・TOEFL-iBT（注2）…………… スコア証明書（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
  - ・IELTS Academic Module（注2）…………… スコア証明書
  - ・ケンブリッジ英語検定（注1）（注3）…………… 合格証明書
  - ・GTEC（CBTに限る）（注2）（注3）…………… スコア証明書
  - ・TEAP（注2）（注3）…………… スコア証明書
  - ・TEAP CBT（注2）（注3）…………… スコア証明書
  - ・TOEIC L&R/TOEIC S&W（注2）（注4）…………… スコア証明書

（注1）高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に取得したもの。  
（注2）出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの。  
（注3）令和3年度に実施する令和4年度入試に限り、利用できます。令和4年度に実施する令和5年度入試からは、対象外の試験となります。  
（注4）令和2年度に受験したスコアのみを対象とし、かつ、令和3年度に実施する令和4年度入試に限り、利用できます。令和4年度に実施する令和5年度入試からは、対象外の試験となります。また、TOEICはL&RとS&Wの2つのスコア証明書が必要です。
- (2) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「3. 主な提出書類」の(3)に該当する書類）を提出できる者
- (3) 法学部が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

なお、(3)及び(4)の書類については、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に該当するものに限ります。

- (1) 次の①～④の書類は全員提出してください。

- ① 調査書（1. 出願資格(3)に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
- ② 国際公共政策学科の志願者のみ提出してください。（法学科の志願者は提出不要）  
「2. 出願要件」の(1)に該当するスコア証明書のコピー又は合格証明書のコピー  
但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。（TOEFL-ITP 及びIELTSのGeneral Training Moduleの成績は利用できません）
- ③ 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- ④ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

- (2) 出願資格の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及びPredicted Gradesを仮に提出してもらいますが、令和4年1月19日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

- (3) 次の①～⑨から2件（種類）以内の該当する書類を全員提出してください。

また、「活動実績報告書」（Web出願システムへ入力）を併せて提出してください。

- ① 外国語に関する高い語学力を証明する書類（英語の資格・検定試験のスコア証明書や合格証明書）のコピー（但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要）
- ② 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が15日以上）の事実を証明する書類（大阪大学所定様式）
- ③ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類（大阪大学所定様式）

- ④ 日本の大学入学共通テストに相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書
- ⑤ スーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定されている学校においてSGHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（アソシエイト校は対象とならない）（大阪大学所定様式）
- ⑥ WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校、共同実施校および連携校に指定されている高等学校等で行ったWWLに関連する課題研究において得たことを、志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）
- ⑦ 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類（大阪大学所定様式）
- ⑧ 極めて高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（大阪大学所定様式）
- ⑨ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類（大阪大学所定様式）
- (4) 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類（大阪大学所定様式）とインターンシップの経験で得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類（大阪大学所定様式）を提出してください。（任意）
- (5) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定））に提出

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	
地理歴史	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	} から2
公民		
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 * 1	
数学	(数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B) の2	
外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語から1 * 2	

##### 【注意事項】

- \* 1：「基礎を付した科目」から2科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。
  - ① 「基礎を付した科目」から2科目と、「基礎を付していない科目」から1科目を選択した場合……選択した基礎を付した2科目の成績を利用
  - ② 「基礎を付していない科目」から2科目を選択した場合……基礎を付していない2科目を、基礎を付した2科目と見なし、2科目の成績を利用。この場合、基礎を付していない科目は1科目ごとに50点満点に換算します。
  - ③ 「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合……合格者判定の対象とはなりません。（「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。）
- \* 2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。
  - ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

- (1) 第1次選考  
第1次選考は実施しません。（新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことによる臨時的な措置です。）  
なお、第2次選考のお知らせを以下のURLにて掲載しますので、必ず確認するようにしてください。

##### 【掲載URL】

<https://www.nyusi.icho.osaka-u.ac.jp/news/announce.pdf>

※12月10日（金）9：00以降に確認できるようになります。

- (2) 第2次選考  
第2次選考は各学科で行います。出願者に対し、面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。  
第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、面接の結果により行います。大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね80%以上の者であることが必要です。  
第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							提出書類	面接	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計			
(100)	(100)	(50)	(100)	(100)	(100)	160	10	30	200

※上記大学入学共通テストの配点450点満点を160点満点に換算します。

#### 6. 第2次選考

実施日：令和3年12月19日（日）

試験内容	面接
------	----

## 【経済学部】 総合型選抜

### 《求める学生》

経済学部のアドミッション・ポリシーは、以下のような能力を持つ学生を求めています。

- (1) 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語についての基本的な知識を持っている学生。
- (2) 特定の分野で高い能力を持つ学生。
- (3) 経済・経営の分野において、将来、グローバルに活躍する意欲のある学生。

このポリシーに従い、総合型選抜においては、高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語についての基本的な知識及び理解度について大学入学共通テスト及び調査書により判断するとともに、課外活動実績や英語の外部試験の成績など、特定の分野における高い能力を評価し、総合的な選抜を行います。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和2年度中に取得した者及び令和3年度中に取得した者又は取得見込みの者

### 2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者。
  - ・英検（方式は問わない）（注1）…… 2級以上の合格証明書
  - ・TOEFL-iBT（注2）…… スコア証明書（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
  - ・IELTS Academic Module（注2）…… スコア証明書（注1）高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に取得したもの。  
（注2）出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの。
- (2) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「3. 主な提出書類」の(3)に該当する書類）を提出できる者
- (3) 経済学部が定める令和3年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

- (1) 次の①～④の書類は全員提出してください。
  - ① 調査書（1. 出願資格（3）に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
  - ② 「2. 出願要件」の(1)に該当するスコア証明書のコピー又は合格証明書のコピー  
但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。（TOEFL-ITP 及びIELTSのGeneral Training Moduleの成績は利用できません）
  - ③ 志望理由書（Web出願システムへ入力）
  - ④ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）
- (2) 出願資格の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。

なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及びPredicted Gradesを仮に提出してもらいますが、令和4年1月19日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。
- (3) 経済学部のアドミッション・ポリシー及び総合型選抜で求める学生に合致する、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に行った特筆すべき活動について「活動実績報告書」（Web出願システムへ入力）及び「活動実績証明書」（大阪大学所定様式）を提出してください。
- (4) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）



#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	
地理歴史	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	} から 1 * 1
公民		
理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から 2 * 2	
数学	(数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B) の 2	
外国語	英語 (リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1 * 3	

##### 【注意事項】

\* 1 : 第 1 解答科目の成績を利用します。

\* 2 : 「基礎を付した科目」から 2 科目選択することを原則としますが、その他の場合は次のとおり取扱います。

- ① 「基礎を付した科目」から 2 科目と、「基礎を付していない科目」から 1 科目を選択した場合……選択した基礎を付した 2 科目の成績を利用
- ② 「基礎を付していない科目」から 2 科目を選択した場合……基礎を付していない 2 科目を、基礎を付した 2 科目と見なし、2 科目の成績を利用。この場合、基礎を付していない科目は 1 科目ごとに 50 点満点に換算します。
- ③ 「基礎を付していない科目」のみから 1 科目だけ選択した場合……合格者判定の対象とはなりません。

(「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。)

\* 3 : 英語を選択した場合はリーディングを 150 点満点、リスニングを 50 点満点、合計 200 点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング (100 点満点) の成績を 200 点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記 (200 点満点) の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

##### (1) 第 1 次選考

提出書類により選考を行い、募集人員の約 2 倍までの者を上限として第 1 次選考合格者を決定します。

##### (2) 第 2 次選考

第 1 次選考合格者に対し、面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。

第 2 次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、面接の結果により行います。

第 2 次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							提出書類	面接	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計			
25	20		10	35	10	100	50	50	200

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね 80% 以上であることが必要です。

#### 6. 第 2 次選考

実施日：令和 3 年 12 月 19 日 (日)

試験内容	面接
------	----

## 【理学部】 総合型選抜（研究奨励型）

### 《求める学生》

実験などを通して科学を楽しみ、高校などで自主的に研究活動を行った学生

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校を令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (4) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (5) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの

※ 上記出願資格(5)に該当する者は、個別の入学資格審査を行いますので、次により申請してください。

なお、審査の結果、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者に対し、「大阪大学入学資格認定書」を交付します。

- ・ 申請期限 令和3年8月31日（火）17時まで（郵送の場合は必着とします。）
- ・ 申請書類 本学ホームページで申請書類を確認してください。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/shinsahoushin.html>

### 2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の学問・研究に強い興味を持つ者で、化学科の場合、次の①～⑥までのいずれかに1つ以上該当する者、生物科学科の場合、次の①～⑦までのいずれかに1つ以上該当する者。但し、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での活動実績に関するものに限る。
  - ① スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省等主催）で、出場者となった者
  - ② 日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、入選した者及び最終審査会進出者となった者（予定の者を含む）
  - ③ ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生・高専生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、最終審査会出場者となった者（予定の者を含む）
  - ④ 日本学術会議協力学術研究団体主催の学会（\*）での発表者（予定の者を含む）  
（\*）志望する学科で指定されている学会名等は次の通りである。  
化学科：日本化学会（支部の会合を含む）  
生物科学科：学会名は指定しない。
  - ⑤ グローバルサイエンスキャンパス（GSC）全国受講生研究発表会で、出場者となった者（予定の者を含む）
  - ⑥ 大阪大学SEEDSプログラム実感コースを受講し、修了した者
  - ⑦ 数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の優れた自由研究又は課題研究を行った者
- (2) 理学部の志望する学科（コース）が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

次の(1)～(5)の書類を全員提出してください。

- (1) 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- (2) 研究成果概要（3種類）（大阪大学所定様式）  
高等学校等において、自ら、又はグループで行った数学、物理学、化学、生物学、地学などの科学分野の研究で、出願要件とする発表会やコンテストに提出した研究内容等について、次の3種類の書類を作成してください。
  - ① 「A 研究の要旨」  
研究の要旨を500字程度で作成してください。
  - ② 「B 研究の内容」  
研究の内容や成果等をA4用紙7枚以内で作成してください。
  - ③ 「C 研究に対する志願者の貢献度」  
研究に対する志願者の貢献度（指導教員などの関わり等を含む）を記入してください。
- (3) 調査書

- (4) 前記「2. 出願要件」の(1)を満たしていることを証明できる書類  
 ※発表会やコンテストの主催者が本人又は学校に送付等しているもので志願者本人の氏名が記載されている  
 確認可能なもの(コピー可)、若しくは、本学所定の用紙に所属学校長が証明したものとします。
- (5) 大学入学共通テスト成績請求票(出願期間終了後(12月下旬予定))に提出

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学科(コース)名	教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
化学科 生物科学科 (生物科学コース)	国語	国語	
	地理歴史	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	} から1 * 1
	公民		
	理科	物理、化学、生物、地学から2	
	数学	(数学I・数学A)と(数学II・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1)の2	* 2
外国語	英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	* 3	
生物科学科 (生命理学コース)	国語	国語	
	地理歴史	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	} から1 * 1
	公民		
	理科	(物理)と(化学、生物、地学から1)の2	
	数学	(数学I・数学A)と(数学II・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1)の2	* 2
外国語	英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	* 3	

#### 【注意事項】

- \* 1 : 第1解答科目の成績を利用します。
- \* 2 : 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校、中等教育学校、高等専門学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。
- \* 3 : 英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。  
 ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

##### (1) 第1次選考

提出書類により選考を行います。

##### (2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し口頭試問(研究成果のプレゼンテーションを含む)を実施します。口頭試問は個人ごとに行い、1人30分~1時間程度(目安としては、10分間プレゼンテーション、その後に質疑応答)とし、グループ研究の場合は、志願者個人の寄与についても評価の対象とします。なお、第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、口頭試問の結果を総合して行います。

#### (注意事項)

- ・研究成果のプレゼンテーションはA0(ゼロ)判1枚のポスターを準備し、口頭試問当日に持参してください。そのポスターを用いて、10分間で研究成果を発表してもらいます。
- ・第2次選考に欠席した場合、合格者判定の対象とはなりません。
- ・第2次選考には、下記のことを必ず持参してください。

- ①プレゼンテーション用のポスター ②大阪大学受験票

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							提出書類及び 口頭試問	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計		
(200)	(100)		(200)	(200)	(200)	100	100	200

※上記大学入学共通テストの配点900点満点を100点満点に換算します。

#### 6. 第2次選考

実施日：令和3年12月19日(日)

試験内容	口頭試問
------	------

新型コロナウイルス感染症の影響で、今後、選抜の日程や方法等について変更する可能性がありますので、本学Webサイト (<https://www.nyusi.icho.osaka-u.ac.jp/>) で最新情報を確認してください。

## 【理学部】 総合型選抜（挑戦型）

### 《求める学生》

自分自身の頭脳でどこまでも粘り強く考察して真理を探究・発信したい学生

#### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校を令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (4) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (5) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの

※上記出願資格(5)に該当する者は、個別の入学資格審査を行いますので、次により申請してください。

なお、審査の結果、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者に対し、「大阪大学入学資格認定書」を交付します。

- ・申請期限 令和3年8月31日（火）17時まで（郵送の場合は必着とします。）
- ・申請書類 本学ホームページで申請書類を確認してください。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/shinsahoushin.html>

#### 2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など基礎科学分野の学問・研究に強い興味を持ち、高い志を持ってそれらに自主的・意欲的に取り組むことができる者
- (2) 理学部の志望する学科が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

#### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

次の(1)～(6)の書類を全員提出してください。

- (1) 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- (2) 高等学校等でを行った課外活動の実績（自由研究、海外留学、社会貢献活動、国際科学オリンピック国内予選や各種サマープログラム参加などについて志願者が作成）（Web出願システムへ入力）
- (3) 教員（理数系に限らない）の意見書（1通以上。志願者の長所や上記(2)の課外活動の内容について、本学所定の用紙に記載する）
- (4) 調査書
- (5) 上記(2)の課外活動の実績を証明できる書類
- (6) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学科名	教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
数 学 科	国 語	国語	
	地理歴史 公 民	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	から1 * 1
	理 科	物理、化学、生物、地学から2	
	数 学	(数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1) の2	* 2
	外 国 語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	* 3
物 理 学 科	国 語	国語	
	地理歴史 公 民	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	から1 * 1
	理 科	(物理) と (化学、生物、地学から1) の2	
	数 学	(数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1) の2	* 2
	外 国 語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	* 3

#### 【注意事項】

\* 1：第1解答科目の成績を利用します。

- \* 2 : 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校、中等教育学校、高等専門学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。
- \* 3 : 英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。  
 ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

## 5. 選抜方法

- (1) 第1次選考  
提出書類により選考を行います。
- (2) 第2次選考  
第1次選考合格者に対し小論文と口頭試問を実施し、希望学科への適性或基礎学力、思考力を問います。  
第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文、口頭試問の結果を総合して行います。  
なお、第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							提出書類、小論文 及び口頭試問	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計		
(200)	(100)		(200)	(200)	(200)	100	100	200

※上記大学入学共通テストの配点900点満点を100点満点に換算します。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が900点満点中概ね80%以上であることが必要です。

## 6. 第2次選考

実施日：令和3年12月19日（日）

試験内容	小論文
	口頭試問

## 【医学部医学科】 学校推薦型選抜

### 《求める学生》

科学に強い関心と学習意欲を持ち、自ら課題を設定し創造的に挑戦できる行動力を有し、豊かな人間性を持つ人。  
将来、グローバルに活躍する強い希望を持ち、医学研究者を志す方を歓迎します。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者

### 2. 推薦要件

次の要件に全て該当する者としします。ただし、推薦人員は1校につき2名以内とします。

- (1) 医学部医学科が学校推薦型選抜で求める学生に合致する、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が本学医学部医学科で学ぶ人物として責任を持って推薦できる者
- (2) 調査書の評定平均値4.3以上の者
- (3) 医学部医学科が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

- (1) 次の①～③の書類は全員提出してください。

- ① 調査書
- ② 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- ③ 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

- (2) 面接時の自己PR資料（大阪大学所定様式）

あなたが中学以降で、達成したこと、誇りとしていることなどを5件以内あげ、それを証明する物のコピーを全員提出してください。また、その活動の要約を400字以内で作成し併せて提出してください。

（例）

- ・ 公的機関等が主催する行事等において発表者となり顕著な評価を受けたことを証明する書類
- ・ 高等学校等で行った課題研究等の実績を証明する書類
- ・ スポーツ大会、コンクールなどで顕著な成績を修めた表彰状など
- ・ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した実績を証明する書類
- ・ 高い語学力を示す各種試験のスコア（TOEFL、IELTSなど）

※所定様式を使用しない場合は、所定様式内の記載項目に従って作成した資料を提出してください。

- (3) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	
地理歴史	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	} から1
公民		
理科	物理、化学、生物から2	
数学	(数学Ⅰ・数学A)と(数学Ⅱ・数学B)の2	
外国語	英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	
		* 1
		* 2

##### 【注意事項】

\* 1：第1解答科目の成績を利用します。

\* 2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

##### (1) 第1次選考

指定する大学入学共通テストの成績の総点(※1)が900点満点中概ね80%以上の者のうちから成績上位約30名までの者を第1次選考合格者とします。

なお、大学入学共通テストの配点は、素点を利用します。

##### (2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し1日目に小論文を課し2日目に面接を実施します。なお、面接は志願者が提出した書類(特に、自己PR資料、志望理由書)に基づき、個人面接(30分)を2回行います。

第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文及び面接の結果を医学部医学科が学校推薦型選抜で求める学生に照らし合わせ総合的に評価します。

第2次選考の配点は、次のとおりです。

大学入学共通テスト							小論文	面接・ 提出書類	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計			
20	10	20	20	20	20	90	90	90	270

※1. 大学入学共通テストの素点を用います。なお、英語は「4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目」の\*2の換算点を用います。

※2. 小論文(120分)の形式は、文章(英文含む)読解論述型・資料分析型・テーマ型・理科論述型など客観的評価ができるようこれらを組み合わせて出題します。

※3. 面接は、個人面接(30分)を2回行います。なお、面接の結果によって、医師及び医学研究者になる適性に欠けると判断された場合は、不合格とします。

#### 6. 第2次選考

実施日：令和4年2月6日(日)・2月7日(月)

試験内容	小論文
	面接

## 【医学部保健学科】 学校推薦型選抜

### 《求める学生》

(アドミッション・ポリシーより抜粋)

- (1) 保健医療科学の分野で自ら新しい道を切り開いていこうとする意欲を持った人
- (2) 他領域、他分野と協力しつつ保健学を実践することに興味がある人
- (3) 国際的視野にたつて個人、集団を考えられる人
- (4) 高い倫理観と豊かな人間性を持つ人

各専攻では、上記(1)～(4)に加え、下記の学生を求めます。

〔看護学専攻が求める学生〕

「優れた問題解決思考と対人能力を有する人」

〔放射線技術科学専攻が求める学生〕

「医療科学を意欲的に追求する国際性豊かな人」

〔検査技術科学専攻が求める学生〕

「新しい学問に積極的に取り組む人」

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者

### 2. 推薦要件

次の要件に全て該当する者としします。ただし、推薦人員枠は1校で本学科1専攻につき1名とします。

- (1) 医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシー及び学校推薦型選抜で求める学生に合致する、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 調査書の評定平均値4.0以上の者
- (3) 医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシー及び学校推薦型選抜で求める学生に合致する活動を証明する書類(「3. 主な提出書類」の(2)に該当する書類)を提出できる者
- (4) 医学部保健学科が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (5) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

- (1) 次の①～③の書類は全員提出してください。

① 調査書

② 医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシー及び学校推薦型選抜で求める学生に合致する活動の下に保健学科を志望する理由書(Web出願システムへ入力)

③ 医学部保健学科のアドミッション・ポリシー及び学校推薦型選抜で求める学生に合致する人材であることを証明する高等学校等の長が作成した推薦書・志願者評価書(大阪大学所定様式)

- (2) 面接時の自己PR資料について

医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシー及び学校推薦型選抜で求める学生に合致する、あなたがこれまでの人生(高校時代に限定しません。)で達成したこと、誇りとしていることなどを証明する物のコピーを全員提出してください。なお、提出書類は3件以内とします。

(例)

- ・ 公的機関が主催する世界大会等において日本代表になったことを証明する書類
- ・ 英検や漢検などの成績証明書
- ・ スポーツ大会、コンクールなど学内外で受けた表彰状など
- ・ 小学校からずっと皆勤を通していている場合などはそれを証明する通信簿など
- ・ 課題研究の実績を証明する書類
- ・ 外国語に関する高い語学力を証明する書類(TOEFL、IELTS、英検、GTEC、TestDaF、DALF、HSK等)
- ・ 海外研修又は留学(現地での実質的な研修又は留学期間が15日以上)の事実を証明する書類
- ・ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)生徒研究発表会(文部科学省等主催)で、出場者となったことを証明する書類
- ・ 日本学生科学賞(読売新聞社等主催)で、入選した者及び最終審査会進出者(予定の者を含む)となったことを証明する書類
- ・ ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ(JSEC)高校生・高専生科学技術チャレンジ(朝日新聞社主催)で、最終審査会出場者(予定の者を含む)となったことを証明する書類
- ・ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者(予定の者を含む)となったことを証明する書類
- ・ 日本の大学入学共通テストに相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書
- ・ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されている学校においてSSHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類
- ・ スーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されている学校においてSGHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙1枚にまとめた書類(アソシエイト校は対象とならない)
- ・ 高度なリーダーシップ経験(生徒会長等)を証明する書類



- ・ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類
- (3) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	* 1
地理歴史 公民	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	から 1 * 2
理科	物理、化学、生物、地学から 2	
数学	(数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B) の 2	
外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から 1	* 3

##### 【注意事項】

- \* 1：下記「5. 選抜方法」で配点0点としている大学入学共通テストの教科・科目も、受験が必要です。
- \* 2：第1解答科目の成績を利用します。
- \* 3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。  
※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

##### (1) 第1次選考

大学入学共通テストの得点及び提出書類の内容に基づき、総合的に判定します。  
但し、専攻毎に募集人員の概ね5倍の数まで（20名を超える場合は、原則20名まで）を上限として、合格者判定を行います。  
また、大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

専攻名	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	総合計
看護学専攻	200	100		200	200	200	900
放射線技術科学専攻	100	100		200	200	100	700
検査技術科学専攻	100	0		200	200	100	600

##### 【注意事項】

配点0点としている大学入学共通テストの教科・科目も、受験が必要です。

##### (2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し、看護学専攻は口頭試問、放射線技術科学専攻は面接、検査技術科学専攻は小論文及び面接（集団面接を含む）を課します。  
第2次選考の最終合格者判定は、口頭試問又は面接、提出書類、大学入学共通テストの得点及び小論文（検査技術科学専攻のみ）の結果を医学部保健学科が掲げるアドミッション・ポリシー及び学校推薦型選抜で求める学生に照らし合わせ総合的に評価します。  
なお、第2次選考の配点は、次のとおりとします。

専攻名	大学入学共通テスト							小論文	提出書類	口頭試問面接	総合計
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計				
看護学専攻	20	10		20	30	20	100		50	100	250
放射線技術科学専攻	15	10		25	25	25	100		50	50	200
検査技術科学専攻	0	0		50	50	0	100	50	50	50	250

##### 【注意事項】

配点0点としている大学入学共通テストの教科・科目も、受験が必要です。

#### 6. 第2次選考

実施日：令和4年2月6日（日）

試験内容	小論文（検査技術科学専攻のみ）
	口頭試問又は面接（全専攻）

## 【歯学部】 学校推薦型選抜

### 《求める学生》

歯学部は、「熱意と積極性を持って最先端の歯科医学および歯科医療を学び、将来、日本および世界の歯科医療あるいは歯科医学研究の牽引役となることを志す人材」を求めています。強い矜持を胸に前向きに歯学を学ぼうという人を歓迎します。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了した者又は令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和2年度中に修了した者又は令和3年度中に修了又は修了見込みの者

### 2. 推薦要件

次の全てに該当する者としてします。

なお、推薦人員枠は1校につき2名以内とします。

- (1) 歯学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する者で、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
  - (2) 次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書を提出できる者。
    - ・英検（方式は問わない）（注1）（注5）…………… CSEスコア証明書2,300以上（又は準1級以上の合格証明書）
    - ・TOEFL-iBT（注2）…………… 72以上（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
    - ・IELTS Academic Module（注2）…………… 5.5以上
    - ・ケンブリッジ英語検定（注1）（注3）…………… スケールスコア160以上
    - ・GTEC（CBTに限る）（注2）（注3）…………… 1,190以上
    - ・TEAP（注2）（注3）…………… 309以上
    - ・TEAP CBT（注2）（注3）…………… 600以上
    - ・TOEIC L&R/TOEIC S&W（注2）（注4）…………… 1,560以上（S&Wのスコアを2.5倍にして、L&Rと合算したスコア）
  - （注1）高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に取得したもの。
  - （注2）出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの。
  - （注3）令和3年度に実施する令和4年度入試に限り、利用できます。令和4年度に実施する令和5年度入試からは、対象外の試験となります。
  - （注4）令和2年度に受験したスコアのみを対象とし、かつ、令和3年度に実施する令和4年度入試に限り、利用できます。令和4年度に実施する令和5年度入試からは、対象外の試験となります。また、TOEICは、L&RとS&Wの2つのスコア証明書が必要です。
  - （注5）英検については、令和4年度に実施する令和5年度入試から、スコアの設定を取り止め、準1級以上の合格証明書を提出することとします。
- (3) 歯学部が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
  - (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

次の(1)～(5)の書類を全員提出してください。

- (1) 自己推薦書（志願者が作成）（Web出願システムへ入力）
- (2) 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）
- (3) 調査書
- (4) 「2. 推薦要件」の(2)に該当するスコアのコピー  
但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。（TOEFL-ITP 及びIELTSのGeneral Training Moduleの成績は利用できません）
- (5) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
理科	物理、化学、生物から2
数学	(数学Ⅰ・数学A)と(数学Ⅱ・数学B)の2

#### 5. 選抜方法

##### (1) 第1次選考

提出書類の総合評価により行い、募集人員の約3倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

##### (2) 第2次選考

第1次選考合格者に対して面接を実施します。面接は、医療人になるための適性や明確な目的意識を持っている者を積極的に受け入れることを目的に行い、①全般的態度 ②受験の動機、目的、意識 ③意欲、積極性 ④協調性、柔軟性 ⑤生命科学の勉学・研究に必要な適性と能力を評価します。

面接は、個人面接を行います。なお、必要に応じ、英語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績及び面接の結果の総合評価により行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト				合計	面接	総合計
理科		数学				
第1解答科目	第2解答科目	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ・数学B			
(100)	(100)	(100)	(100)	100	200	300

※上記大学入学共通テストの配点400点満点を100点満点に換算します。

※理科(物理、化学、生物から2)の第1解答科目、第2解答科目の合計得点、及び数学の2科目((数学Ⅰ・数学A)と(数学Ⅱ・数学B))の合計得点が、それぞれの教科において概ね80%以上であることが必要です。

#### 6. 第2次選考

実施日：令和3年12月19日(日)

試験内容	面接
------	----

## 【薬学部】 学校推薦型選抜

### 《求める学生》

薬学部では、幅広い薬学領域で活躍することにより社会に貢献できる人材を育成するために、論理的かつ柔軟な思考力を支える幅広い基礎知識を備え、さらに創造性豊かで何事を行うにも意欲的に取り組むことができる学生を求めます。

学校推薦型選抜では、こういった薬学部のアドミッション・ポリシーに適い、さらに、大学院（博士課程）へ進学し、学部と大学院を合わせた10年間、高度な医療・薬学研究に打ち込もうという熱意があり、国際舞台で活躍できる薬の専門家（薬剤師・薬学研究者）になることを目指す学生を求めます。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和3年3月に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和3年3月に修了した者又は令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が指定するものを令和3年3月に卒業した者又は令和3年度中に修了又は修了見込みの者

### 2. 推薦要件

次の全てに該当する者とします。なお、推薦人員枠は1校につき3名以内とします。

- (1) 本学部における学問・研究に強い興味を持ち、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 薬学部が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

- (1) 次の①～③の書類を全員提出してください。
  - ① 調査書
  - ② 自己推薦書（志願者が作成）（Web出願システムへ入力）
  - ③ 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）
- (2) 次に該当する書類があれば提出してください。
  - ① 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類
  - ② 英語資格・検定試験（TOEFL-iBT、IELTS、英検等）の成績を証明する書類（高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に受験したものに限り）のコピー（但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要）
- (3) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	
地理歴史 公民	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	} から1 * 1
理科	物理、化学、生物から2	
数学	(数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1) の2 * 2	
外国語	英語 (リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 * 3	

##### 【注意事項】

- \* 1 : 第1解答科目の成績を利用します。
- \* 2 : 「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校、中等教育学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。
- \* 3 : 英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。  
※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング (100点満点) の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記 (200点満点) の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

##### (1) 第1次選考

志願者数が募集人員に対し約2倍を超えた場合は、大学入学共通テストの総点及び調査書等により、第1次選考を行います。

なお、大学入学共通テストの配点は、素点を利用します。

##### (2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。

・小論文：自然科学の勉強・研究に必要な適性と能力を総合判定します。出題については、英語を使用することもあります。

・面接：面接は、人間性と創造性の豊かな薬学研究者・薬剤師としての適性をみるために行い、一般的態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性等及び提出書類の内容を含めて評価します。面接は個人面接を2回行います。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、小論文、面接の結果により行います。

なお、第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							小論文	面接	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計			
150	50		200	200	150	750	100	150	1,000

#### 6. 第2次選考

実施日：令和4年2月6日 (日)

試験内容	小論文
	面接

## 【工学部】 学校推薦型選抜

### 《求める学生》

工学部の学校推薦型選抜では、本学部のアドミッション・ポリシーのもとに、志願する学科の専門分野を含む広い科学分野の学問・研究に強い興味を持っている人で、次のような人を求めます。

- (1) 課題を自ら発見し解決しようとする意欲に溢れた人
- (2) 高等学校等で主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた人
- (3) グローバル社会での活躍を目指す意欲的な人
- (4) 高い英語（外国語）運用能力を身に付けている人

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者

### 2. 推薦要件

高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合には入学することを確約できる者で、工学部が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験し、次の(1)～(5)のいずれかに該当する者。

なお、推薦人員枠は1校で本学部1学科につき4名以内とします。

- (1) 高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の自由研究又は課題研究を行った者※
- (2) 大阪大学SEEDSプログラムに参加経験のある者
- (3) 科学分野のコンテストに出場経験のある者
- (4) 調査書の数学、理科の評定平均値が全て4.3以上の者
- (5) 次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者
  - ・英検（方式は問わない）……………準1級以上（高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次（但し、既卒者は高等学校第2学年以降に相当する期間）に合格）
  - ・TOEFL-iBT ……………スコア80点以上（「MyBest Scores」ではなく出願期間の初日から遡り2年以内に取得した「Test Date Scores」）
  - ・IELTS（Academic Module）……スコア6.0点以上（出願期間の初日から遡り2年以内に取得）

※スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）による研究も含まれます。

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

- (1) 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- (2) 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）
- (3) 研究成果概要（3種類）（大阪大学所定様式）

高等学校等において、自ら、又はグループで行った数学、物理学、化学、生物学、地学などの科学分野の研究で、推薦要件とする発表会やコンテストに提出した研究内容等について、次の3種類の書類を作成してください。

- ・「A 研究の要旨」  
研究の要旨を500字程度で作成してください。
- ・「B 研究の内容」  
研究の内容や成果等をA4用紙4枚以内で作成してください。
- ・「C 研究に対する志願者の貢献度」  
研究に対する志願者の貢献度（指導教員などの関わり等を含む）を記入してください。

※上記「2. 推薦要件」の(1)～(3)に該当する者のみ提出してください。

- (4) 調査書

- (5) 前記「2. 推薦要件」の(2)～(3)を満たしていることを証明できる書類（大阪大学所定様式）  
 ※大阪大学所定様式以外でも提出可能とするが、発表会やコンテストの主催者が本人又は学校に送付等しているもので志願者本人の氏名が記載されている確認可能なもの（コピー可）で、大阪大学所定様式に指定された項目がすべて明示されたものとします。  
 ※前記「2. 推薦要件」の(2)～(3)に該当する者のみ提出してください。
- (6) 英語資格・検定試験（英検、TOEIC、TOEFL-iBT、IELTS、GTEC等）の成績を証明する書類のコピー  
 ・但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。  
 ・英検にあっては、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次（但し、既卒者は高等学校第2学年以降に相当する期間）に合格したものに限り。  
 ・英検以外にあっては、出願期間の初日から遡り2年以内に取得したものに限り。  
 ※前記「2. 推薦要件」の(5)に該当する者だけでなく、該当書類がある場合は必ず提出してください。
- (7) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

#### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		
国語	国語		
地理歴史 公民	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	} から1	* 1
理科	物理、化学、生物、地学から2		
数学	(数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1) の2		* 2
外国語	英語（リスニング含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1		* 3

##### 【注意事項】

- \* 1：第1解答科目の成績を利用します。
- \* 2：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校、中等教育学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。
- \* 3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。  
 ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

#### 5. 選抜方法

- (1) 第1次選考  
 志願者数が募集人員に対し2倍を超えた学科については、書類審査により第1次選考を行います。
- (2) 第2次選考  
 第1次選考合格者に対し面接を実施します。  
 第2次選考の合格者判定は、提出書類による書類審査、面接の結果と大学入学共通テストの成績を総合して行います。  
 なお、面接・提出書類及び大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。  
 但し、面接・提出書類（100点）と大学入学共通テスト（900点）の合計1,000点で行うのではなく、大学入学共通テストの成績は、基礎学力の確認に利用します。

面接・ 提出書類	大学入学共通テスト						
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計
100	200	100		200	200	200	900

#### 6. 第2次選考

実施日：令和3年12月19日（日）

試験内容	面接

#### 7. 2年次又は3年次からの分属

2年次又は3年次から学科目及びコースに分属します。分属年次は各学科により異なります。学校推薦型選抜による入学者は、所属学科内の希望する学科目・コースへ優遇的に分属します。

分属の詳細については、7月公表予定の「総合型選抜・学校推薦型選抜 学生募集要項」を参照してください。

## 【基礎工学部】 学校推薦型選抜

### 《求める学生》

基礎工学部と志望学科のアドミッション・ポリシーで求める学生を選抜する学校推薦型選抜を行います。とくに志願する学科における学問・研究に強い興味を持ち、自ら課題を発見して柔軟に対応することができ、適切にコミュニケーションできる人を求めます。

### 1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和2年度中に修了した者及び令和3年度中に修了又は修了見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を令和2年度中に卒業した者及び令和3年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの

※ 上記出願資格(4)に該当する者は、個別の入学資格審査を行いますので、次により申請してください。

なお、審査の結果、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者に対し、「大阪大学入学資格認定書」を交付します。

・申請期限 令和3年8月31日（火）17時まで（郵送の場合は必着とします。）

・申請書類 本学ホームページで申請書類を確認してください。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/shinsahoushin.html>

### 2. 推薦要件

次の全てに該当する者とします。

なお、推薦人員枠は1校で本学部1学科につき3名以内とします。

- (1) 志願する学科における学問・研究に強い興味を持ち、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 基礎工学部が定める令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合には入学を確約できる者

### 3. 主な提出書類

証明書等は、「コピー」と指示がない限り全て原本を提出し、志願者本人以外が作成する書類については厳封のうえ提出してください。

- (1) 次の①～③の書類を全員提出してください。
  - ① 自己推薦書（志願者が作成）（Web出願システムへ入力）
  - ② 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）
  - ③ 調査書
- (2) 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後（12月下旬予定）に提出）

### 4. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	
地理歴史 公民	世界史B、日本史B、地理B 「倫理、政治・経済」	から1 * 1
理科	(物理)と(化学、生物から1)の2	
数学	(数学Ⅰ・数学A)と(数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎から1)の2	* 2
外国語	英語(リスニング含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	* 3

#### 【注意事項】

\* 1：第1解答科目の成績を利用します。

\* 2：「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校、中等教育学校又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において、これらの科目を履修した者に限ります。

\* 3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。



## 5. 選抜方法

### (1) 第1次選考

大学入学共通テストの成績及び提出書類により選考を行い、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。なお、大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	合計
100	75		200	200	125	700

### (2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し口頭試問を実施します。受験者の能力、適性、意欲、関心等を各学科で掲げているアドミッション・ポリシーと照らし合わせて、多面的・総合的に評価します。(各学科のアドミッション・ポリシーは基礎工学部のホームページを参照してください。)

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類及び口頭試問の結果を総合して行います。なお、大学入学共通テストは、第1次選考における配点と同じです。

## 6. 第2次選考

実施日：令和4年2月6日（日）

試験内容	口頭試問
------	------

## 7. 2年次からの分属

2年次からコースに分属します。

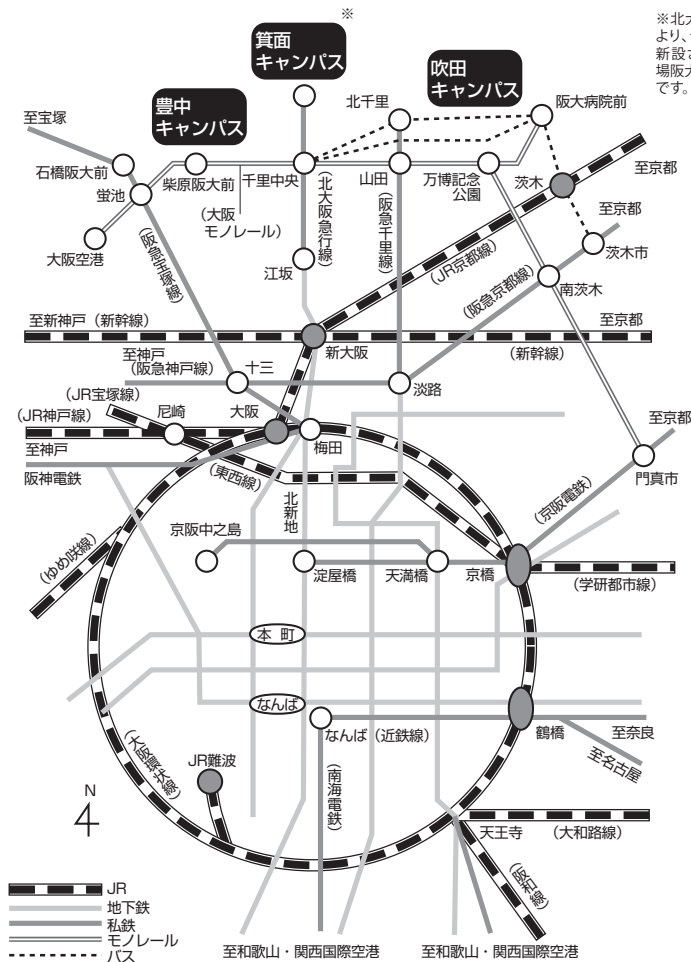
分属の詳細については、7月公表予定の「総合型選抜・学校推薦型選抜 学生募集要項」を参照してください。



## 学部等所在地・配置図

地 区	学 部 等 名	所 在 地	配 置 図	
吹 田 キャンパス	入 試 課	〒565-0871 吹田市山田丘1-1	☎ 06(6877) 5111 (代表)	
	人 間 科 学 部	〒565-0871 吹田市山田丘1-2		
	薬 学 部	〒565-0871 吹田市山田丘1-6		
	吹 田 キャンパス	工 学 部	〒565-0871 吹田市山田丘2-1	☎ 06(6879) 5111 (代表)
		医学部(医学科)	〒565-0871 吹田市山田丘2-2	
		医学部(保健学科)	〒565-0871 吹田市山田丘1-7	
		歯 学 部	〒565-0871 吹田市山田丘1-8	
豊 中 キャンパス	文 学 部	〒560-8532 豊中市待兼山町1-5	☎ 06(6850)6111 (代表)	
	法 学 部	〒560-0043 豊中市待兼山町1-6		
	経 済 学 部	〒560-0043 豊中市待兼山町1-7		
	理 学 部	〒560-0043 豊中市待兼山町1-1		
	基 礎 工 学 部	〒560-8531 豊中市待兼山町1-3		
箕 面 キャンパス	外 国 語 学 部	〒562-8678 箕面市船場東3-5-10	☎ 072(730)5069 (直通)	

## 交通案内



# 学部等配置図

## 吹田キャンパス



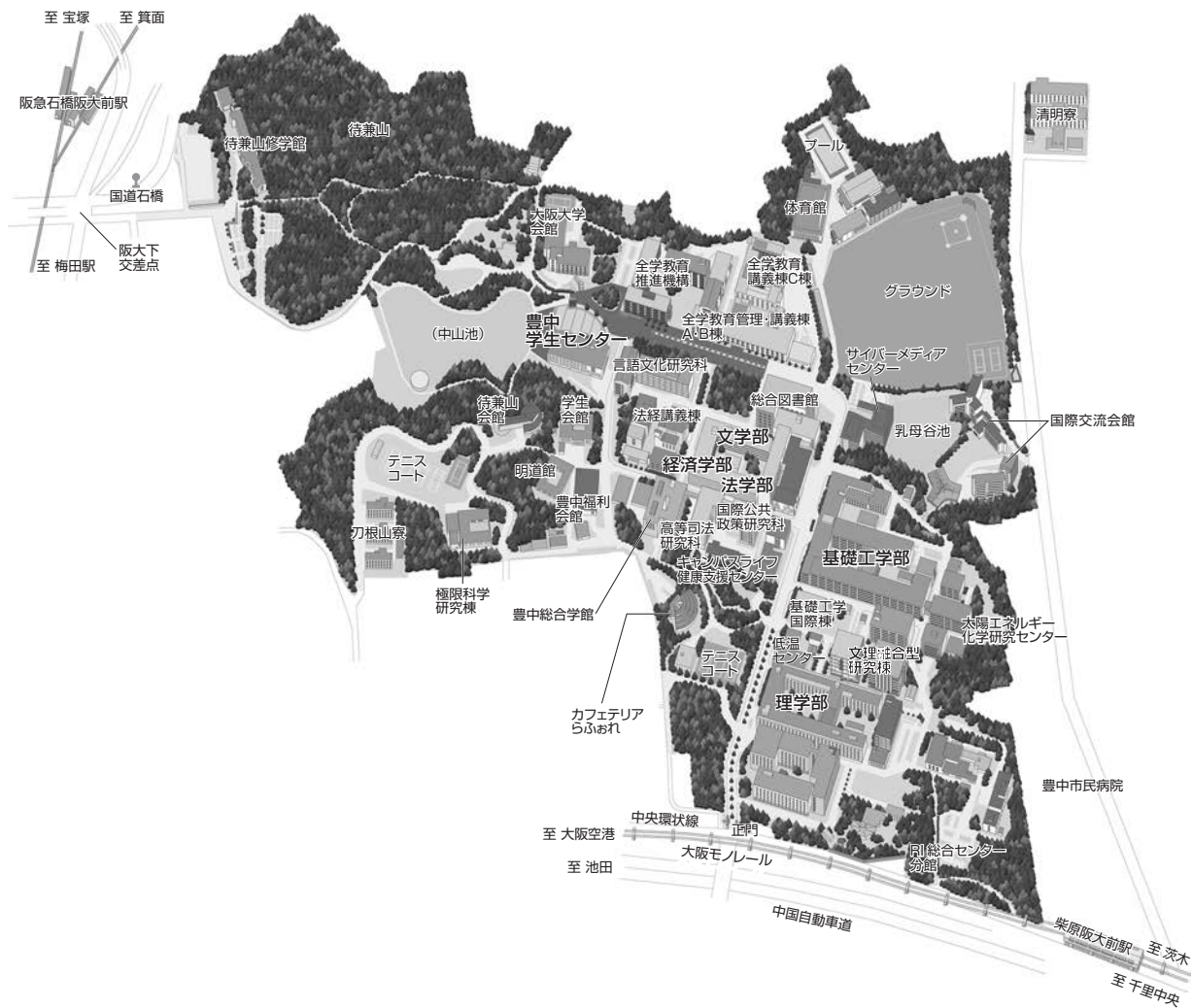
### ○利用交通機関

〔バス〕 阪急バス 千里中央発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行（阪急山田経由）」  
 近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行（JR茨木駅経由）」  
 いずれも、阪大医学部前または阪大本部前下車、徒歩約5分～10分

〔モノレール〕 大阪モノレール 阪大病院前駅 下車 西へ徒歩  
 医学部（医学科）……………約5分  
 入試課、人間科学部……………約10分  
 医学部（保健学科）、歯学部、薬学部……………約15分  
 工学部……………約20分

〔電車〕 阪急電鉄千里線 北千里駅（終点）下車 東へ徒歩  
 工学部……………約15分  
 歯学部、薬学部、医学部（保健学科）……………約25分  
 入試課、人間科学部、医学部（医学科）……………約30分

# 豊中キャンパス

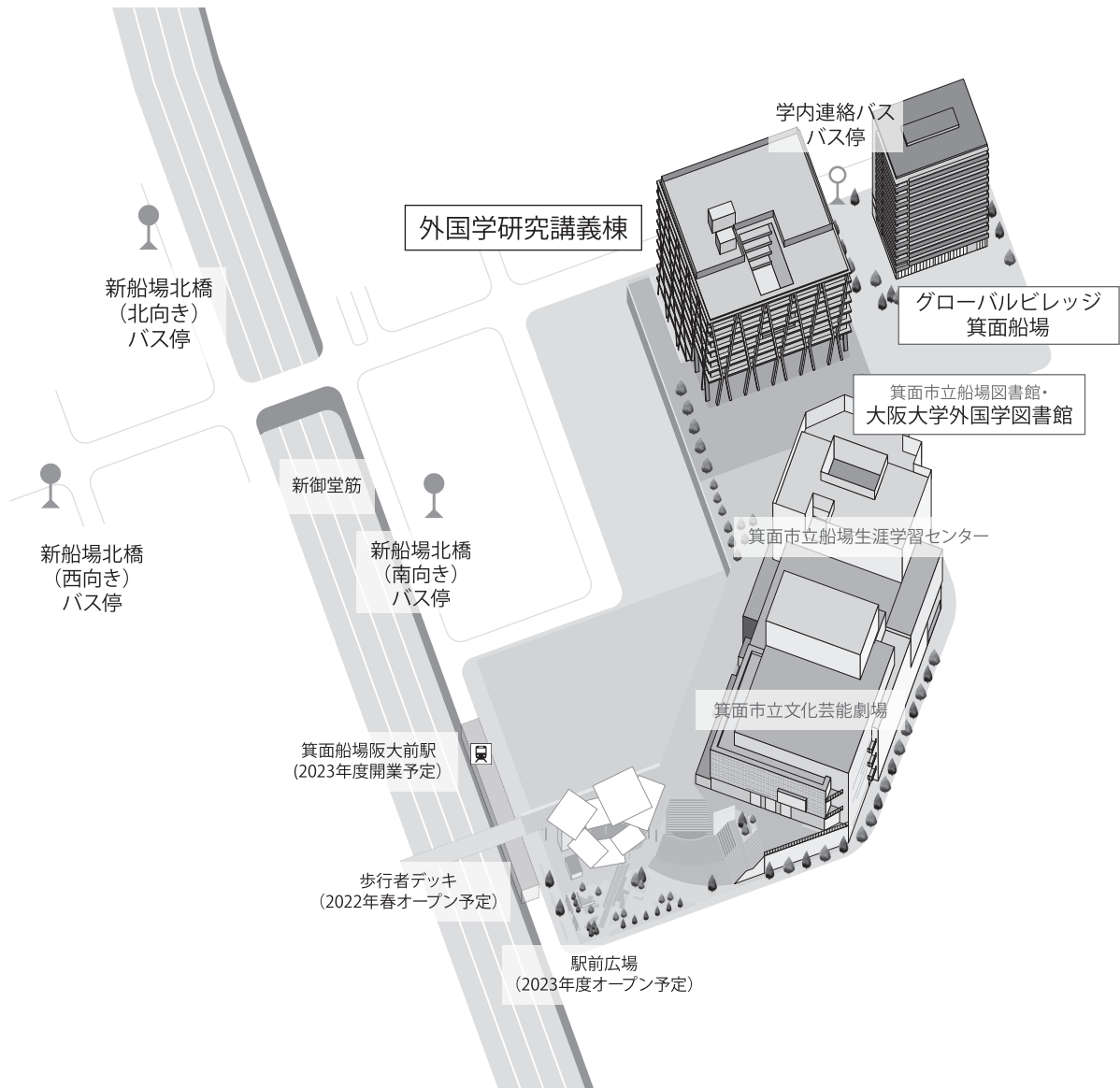


## ○利用交通機関

〔電車〕 阪急電鉄宝塚線 石橋阪大前駅下車 東へ徒歩  
 全学教育推進機構 …………… 約15分  
 文学部、法学部、経済学部 …………… 約20分  
 理学部、基礎工学部 …………… 約25分

〔モノレール〕 大阪モノレール 柴原阪大前駅下車 西へ徒歩  
 理学部、基礎工学部 …………… 約7分  
 文学部、法学部、経済学部 …………… 約10分  
 全学教育推進機構 …………… 約15分

## 箕面キャンパス（外国語学部）



### ○利用交通機関

〔モノレール〕	大阪モノレール	千里中央駅下車	徒歩約25分
		千里中央駅下車	阪急バス乗車、新船場北橋下車徒歩約1分
〔電 車〕	北大阪急行電鉄	千里中央駅下車	徒歩約25分
		千里中央駅下車	阪急バス乗車、新船場北橋下車徒歩約1分

北大阪急行線延伸計画により、令和5（2023）年度に新設される予定の「箕面船場阪大前駅」と直結する予定です。





大阪大学教育・学生支援部入試課 〒565-0871大阪府吹田市山田丘1-1

<https://www.nyusi.icho.osaka-u.ac.jp/>

Email: [admission@office.osaka-u.ac.jp](mailto:admission@office.osaka-u.ac.jp)

問い合わせは原則として志願者本人が行ってください。